



日々改善を続けよう

・周りから、お客さまから素晴らしいといわれる社員と会社になる・

社長 山根久志

7月12日マツダエース様の「安全衛生大会」で、私たちが優秀賞の表彰を受けることになりました。なぜ私たちがこの名誉ある賞を受けることになったか、その理由をうかがいました。

決められたことを淡々とこなす。基本的なことを確実にこなす。無駄な動きをしない。

道具がいつも整っている。夏の暑さ対策がきちんとできている、などなど。

現場で社員のみなが、いかに「安全」を改善しながら作業してくれているか、発注先のお客さまから教えていただきました。本当にありがたい。

反面こんな「品質」が下がった事故がありました。5月20日一年前施工したFRPライニング工事の自主点検を実行しました。残念ながらFRPシートが一部分剥離していました。

あってはならないことですが、剥離は本来起こりうることです。この自主点検の目的は、品質不良の原因を探し、以降の工事の品質を改善し、高めることにあります。

ところが残念ながら上司は、この自主点検工事の目的を十分には理解せず、なぜ剥離したのか、その原因を追究することなく、そのまま復旧させました。その上会社に報告がなかったのです。

鉄とFRP樹脂という異質なものを接着させるという技術は、私たちにとって初めての経験です。単に手順書どおりに施工すれば良いというのは、幼稚な考え方です。

なぜ剥離したのか？全体の何個が不良を起こしているのか？施工箇所の全数調査を実施します。その上で材料の特性を学ぶと同時に、接着技術を含む施工技術をもっと勉強し、品質を改善してほしい。

私たちは何のために今この作業をしているか？すべてはお客さまのご要望に応えるために、自分たちのできることをすべて結集してご満足いただくこと以外にありません。

今までにない技術を育て、お客様に喜ばれる製品やサービスを生み出すために、日々改善を続けてほしい。

私はこう考え、こう実行します

【安原】基本から学び、自社独自の技術にまで高める。

【松下】今あるサービスに満足せずプラスアルファのサービスを考え実行する。

【河上】トラブル追求に妥協しない

【岸本】日々改善を続け、お客さまに喜ばれるサービスを提供する。

【福間】現状に満足せず、お客さまが喜ばれる、もっと良いサービスを考え、実行します。

【木村】今年は工場設備の改善を絶対にする。

【吾郷】失敗を恐れず挑戦します。

【山口】私は「安全」の改善を続けます。

【大國】今行っている作業・サービスを日々改善する。

【木村憲】本質をもう一度よく考えてみる。

【榎並】お客さまの声は貴重な情報と受け止め、お客さまに満足していただけるように改善をします。

【岡田】日々の作業の一つ一つを見直し、今までとは違う作業手順を作っていきます。

【石橋】処理物引き取りの電話があれば、少しでも早く回収出来るように引き取り方法を再チェックします。

【松本】今一度、初心に戻り、お客さまに喜ばれるサービスを提案します。

【植尾】報・連・相の徹底。

【高橋】自分の改善すべきこと、周りの環境の改善すべきことを見つけ、実施していきます。

【小村】自分の言った言葉を忘れずに、人の見本となるよう自己を高める。

【長谷川】お客さまの満足に応えるために自分が出来ることを考え実行する。

【恩村】お客さまに喜んでいただけるよう日々心掛けていきます。

【藤原拓】お客さまに喜んでいただける作業をします。

【藤原大】もっと多くの現場を経験し、がんばっていきたいと思います。

【金森】暑さ対策をし、安全に作業する。

【安達】作業の意味を考え行動する

【野々村】自身の技術を磨き、喜ばれるサービスを提供します。

【田中】FRPについて学び、施工技術を習得していきます

【中村】作業の流れの中で、自分は今何をすべきか考え、優先する作業から実施し、無駄を減らし、常に勉強の気持ちを持ち続け、改善に努めます。

【清水】FRP施工について、改善すべきところは改善し、問題のない施工をします。

【足立】自分に与えられた仕事の意味を常に考えながら取り組みます

【長谷川真】報・連・相を密にします。

【長野】小さなことでも地道に改善を続ける。



「ホタルブクロ」
大きな釣り鐘状の花を咲かせます。花はうつむいて咲きます。

島根中央信用金庫
的場理事長から祝辞を
頂きました



日本はリーマンショック以後、長期にわたり低成長・円高・デフレ経済の中、昨年未安倍政権が誕生しました。安倍政権以来、ドル高・円安・株高になっていますが、相対的には輸出関連は好調です。街角の景況感はあるものの、消費者には不安が残ります。6月12日、成長戦力の骨格が示され、10年後にGDP10%、国民総所得150万円増が示され、景気の拡大は、設備投資・消費拡大にあります。

平成24年の山陰興業の成績は、社員の皆さんの計画・目標の達成によるものです。日々の努力の積み重ねで、PDCAがうまくまわっており、対応が速やかです。企業は全社員が一丸となって進みます。本日の事業発展計画発表が有意義なものになるよう、祈念します。



会社の発展のためにがんばってくれた社員の表彰が行われました。

永年勤続表彰



写真左より、横地社員・福島シニアマネージャー・吾郷リーダー・長野課長・木村リーダー・大國リーダー・山口リーダー

- 35年勤続表彰...福島シニアマネージャー
- 20年勤続表彰...長野課長
- 15年勤続表彰...横地社員
- 10年勤続表彰...吾郷リーダー、木村リーダー
大國リーダー、山口リーダー

お客さま先で、車検・タイヤ購入・施設利用など協力した社員へ協力賞が授与されました。

協力賞を受賞した岡田社員、
足立社員、長野課長（写真
左より）



社長賞表彰



写真後列左から、山根社長・大國リーダー・木村リーダー・木村社員・高橋社員・榎並社員・恩村社員、前列左から、金森社員・山口リーダー・長野課長・横地社員

- 《社長賞》
- 金森社員...「サービスはどこにも負けない！」との強い思いで、大切なお客様を復活させた。
 - 山口リーダー...2つのプログラムを推進し、「一滴も余すことなく収集する」に大きく貢献した。
 - 横地社員...訪問件数対前年112.3%を達成した。
 - 大國リーダー...鳥取地区での収集量を対前年113.1%を達成した。
 - 木村リーダー...年間約五百万円のコストダウンを実現した。
 - 木村社員...会社の技術開発力を強かに推し進めると同時に後進の育成をはかった。
 - 高橋社員...新燃料の研究開発で業界の将来を担う明るい成果を出した。
 - 榎並社員...「工事部顧客管理システム」を3年がかりで完成させ、40期の部門別売上目標達成に大きく貢献した。
 - 恩村社員...「工事部顧客管理システム」「収集デジタル化」に積極的にに関わり、お客さまサービス向上に貢献した。
- 《特別賞》
- 長野課長...「エコス通信」を20年の永きにわたって発刊しお客さまとのコミュニケーションを深めた。

基調講演

『森がぼくらの幼稚園 ～まるたんぼうの活動紹介～』

智頭町森のようちえん
「まるたんぼう」
代表 西村早栄子 様

「まるたんぼう」を視察させていただいた日は雨模様でした。しかし、園児達は雨を楽しむようにどンドン森へ入っていきます。生物の尊さも身をもって感じています。自分のやりたいことを見つけ、とことんそれに向かう。まさに観察力と創造力の世界だと感じます。

「まるたんぼう」誕生のきっかけ

1950年デンマークで生まれた“野外保育”のスタイルは、現在ではドイツが有名です。日本には10年前に導入されました。「まるたんぼう」は、5年前に智頭町に設立され、中四国ではじめての森の幼稚園になります。西村代表は昨今の日本の子育てに疑問をもっていました。ちょうどその頃に森の幼稚園を知り、また、転勤により、智頭町との出会いも設立のきっかけになったそうです。

保育方針

西村代表から、保育方針を伺いました。
森へ行く...自然の中でのびのびと過ごす
見守る保育...口出しをしない。子どものいうことに耳を傾ける。手を出さない(助けを求めるまでまつ)。「危ない、汚い、ダメ、早く」は禁句で、徹底した見守り保育です。
また、日常の幼稚園生活では、園舎がない...自然の中で育つことで、たくましい目としなやかな心を育む。日課がない...自主性を尊重する。好奇心を保障し、自由と責任を学ぶ。玩具がない...感性で自然物が玩具になる。想像力・創造力・コミュニケーション能力が身につく。 育ち



雨の日は、カッパを着て装備万全です。(まるたんぼうの活動の様子)

を信じて待つ心...子供達の成長を楽しみ、子育てが楽しくなる。

このような保育を通して期待できることは、たくましい子に育つ。人なつこくなる。観察力・創造力が育つ。自分の限界を知る力が育まれる。自分でやろうとする力が育つ。高いコミュニケーション力が育つ。集中力が身につく。森を大切に作る心が育まれる。何よりも親が育つ。

智頭町には、森の幼稚園として、「まるたんぼう」と「すぎぼっくり」の2園があり、36名の子供達が通っています。

「まるたんぼう」の特徴は、智頭町内に14箇所のフィールド(*)を持ちます。お母ちゃんが立ち上げた幼稚園です。鳥取市内から智頭町への送迎バスがあります。託児部門があります。古民家を借り、14時から17時まで託児が可能です。自治体からの助成もあります。

今後の課題として、「仲間の園を増やし、地元の参加を増やしていきたい。そして、夢はまるたんぼう小学校の設立」という力強いお言葉をいただきました。地域への恩返しとして、「まるたんぼう」を通して、町内への移住者を増やしていきたいと智頭町への感謝の気持ちもお話いただきました。子供たちの探求心・好奇心で森の中はいつも笑顔と歓声が上がっています。他人を思いやるやさしい心も育まれるのです。是非皆様もご覧下さい。(長野)

*フィールド：保育エリア



沢ガニがたくさん出てきて大騒ぎ...

講演していただいた西村代表。(左写真)



八幡地区災害防止協議会視察研修

出雲市の島根富士通を視察させて頂きました。当工場は、ノート型パソコンの国内唯一の生産工場です。1日に13,000～15,000台を生産することが出来ます。ノート型パソコンは、出雲モデルといわれ、日本国内で、また地元出雲でも、広く使用されています。富士通では、部品は海外調達もありますが、生産は国内にこだわっており、ノート型パソコンは出雲市で、デスクトップ型パソコンは福島県伊達市で生産されています。

3.11の震災時には、福島工場も被災し、工場建屋・インフラが使えなくなり、被災2日後にBCP(*)が発動され、10日後には生産活動が開始されました。

このため、出雲工場では、工場内に防災対策本部を置かず、平屋建てのクラブハウス(敷地内にあるが別棟)を防災対策本部としています。昨年8月には富士通グループの合同訓練が計画され、生産ラインを全部ストップし、全員参加で行われました。山陰は自然災害が少ない所ですが、災害はいつ起きるかわかりません。私たちも早期にBCPを策定し、訓練をする必要があると思います。



工場には気体と粉体の消火器が設置されています。

(長野)
(*)BCP...災害や事故など不測の事態を想定して、事業継続の対応策をまとめたもの

「液体漏油対策セミナー」受講

7月8日「液体漏油対策セミナー」を受講させて頂いた。

油等の流出時に、様々な用途で使用する吸着剤の紹介と、実演による実際の効果を見ることができ、大いに参考になった。

万一油が流出し、河川等に達してしまえば、その処理に膨大な費用が発生するとともに環境への汚染も甚大である。

流出という最悪の事態を招く前に、まずは漏油を未然に防ぐことが大切である。そのためには、

1. 自社敷地近郊地理の把握(河川、用水路、田畑等)
2. 工場内・敷地内水路確認(排水路、雨水路、暗渠等)
3. 漏洩危険場所リストアップ(危険物区分の把握、各設備の老朽度把握)
4. 緊急時管理責任者制定
5. 漏洩対策情報伝達網確立
6. 全ての社員が対応可能な状態にする。

お客さま先での緊急対応はもちろんのこと、再度自社の状態を確認して「見える化」するところから始めます。(安原)

「海賊とよばれた男 上・下」 を読んで



私は以前、百田尚樹の作品の『永遠の0』を読んだ。涙なくして読むことのできぬ大作であった。この本を読む前に期待値はかなり高いものであった。そして、本を手に取り文字を追いかけた。

この物語の主人公「国岡鐵造」は国岡商店の社長である。その男の生き様がこの本にあふれていた。また近代史(戦前・戦後)を知ることができ、心をふるわせながら、一方で歴史を知る教科書の一面もあると思った。

国岡鐵造は気持ちがいいほどまっすぐな男である。社員を自分の家族のように愛し、育てている。「一人も犠牲はならん」「一千名にものぼる店員こそ、国岡商店の最高の資材であり財産である」口先だけでなく、「人間尊重」を実行した人物である。そして常に日本国のために尽くしてきた人だ。男の中の男だと思った。私もかくあるべき日本の男でありたい。(山口)

元気の出る言葉

中村天風師

良いときに感謝しないんだから、悪い時にはもつと悪くなる

現在感謝という気持ちでいれば、どんな場合でも生きがいを感じて生きていける。感謝を感じない人は、どんないい目にあっても満足できない。いつか感謝の気持ちでいられれば、どんな悪いときでも前向きに物事が考えられると思う。(長野)



「キササゲ」果実の形がササゲ豆に似ていることから命名されました。

その仕事、利益に結びついてますか？

できる社員・店員・経営者の「会計心得」
金児昭著 日経ビジネス人文庫刊



私たちの会社が、皆さんにボーナスを「現金」で支払う理由を理解してください。

給料もボーナスも社員にとっては収入ですが、会社にとってはコストです。したがって会社がボーナスを支払うためには、社員は売り上げを一円でも多く、最大限にする。コストを一円でも少なく、最小限にする。そして1円でも大切に、利益を積み上げる必要があります。

この本は、会社も社員も「一円の利益を大切に」ということを訴えています。私も同感です。「一円の利益を大切に」して、会社の財務体質を強くする。そして、社員の給料やボーナスに反映させるというのが、会社の方針です。

あなたが貰うボーナスの一万円札一枚には、例えばあなたが「一円の利益を大切に」したことが、一万回重なっていると考えて下さい。（注：以前は給料も現金で支払っていました）

以上は会社の「会計」の仕組みの一部です。これから1年かけて、木島講師より「やさしい会計」の勉強をする計画です。進んで勉強して下さい。

（山根）

蔵書新着情報

・その仕事、利益に結びついてますか？

・教わらなかった会計 金児昭 日経ビジネス人文庫
上記2冊 株式会社東京システムズ 木島社長様から
ご惠贈賜りました。ありがとうございます。

・「低成長優良企業」を目指す 染谷和巳 プレジデント社
株式会社アイウィル 染谷社長様からご惠贈賜
りました。ありがとうございます。

・稲盛和夫流・意識改革 心は変えられる 原英次郎
ダイヤモンド社

・トヨタが「現場」ですっとくり返してきた言葉
若松義人 PHP研究所

・②悪のしくみ（中学生までに読んでおきたい哲学）
あすなる書房

・「アイスランド」伝説のトレーナーが明かす ミッキーマウスに頼らない
本物の指導力 町丸義之 こうの書房

・さきちゃんたちの夜 よしもとばなな 新潮社

・島根県謎解き散歩 新人物往来社

・鳥取県謎解き散歩 新人物往来社

・俺のイタリアン、俺のフレンチーぶっちぎりで勝つ競争
優位性の作り方 坂本孝 商業界

・はだしのゲン第1巻、第2巻 中沢啓治 汐文社

・あほな奴ほど成功するーみんな！幸せと仲良くなろうよ
中村文也 星湖舎

今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で1名に大山地ビールと大山ハムのセットを差し上げます。クイズの締切は7月末です。奮ってご応募下さい。

Q：富士山が世界遺産に登録されました。そこで、富士山に関する問題です。日本各地に、ご当地にちなんだ 富士とよばれる山があります。3つ挙げてください。

先月号の答は、「オシドリ」でした。
鳥取市 増田様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙（答）

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

編集後記

富士山が世界遺産に登録されました。富士山は以前、自然遺産として登録を目指していましたが、ごみ問題などがあり登録を断念しました。今回は、文化遺産としての登録を目指し、夢が叶ったのです。日本最高峰の富士山は、昔から人々が信仰する山で、浮世絵等にも描かれていることも評価の対象になったようです。

しかし、これからが大切です。世界遺産となると、保全の状況を6年ごとにユネスコの世界遺産委員会に報告して、審査を受けなければなりません。その対策の1つとして、登山客から入山料をもらって環境保護に役立てようとしています。将来にわたって、世界遺産を守ることを第一に考える必要があると感じます。（長野）

発行日：毎月10日
発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20
TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472
山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野
E-mail :h.nagano@e-skk.co.jp
印刷：授産センターよつば 印刷係

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

山陰興業蔵書本をお貸しします

本誌で紹介した蔵書本を、広く皆様にお貸しします。

営業マンや当編集部に遠慮無くお申し付け下さいませ。



事業発展計画発表会開催

『一人ひとりが感動を発信する』

平成25年6月16日、玉造グランドホテル長生閣において、第41期事業発展計画発表会が開催されました。ご参加いただいた銀行様からは、「若い社員達が明るく積極的にいいね」と、感想をいただきました。



決意表明した植尾社員(写真右側)と山根社長。

私たちは、事業発展計画を達成するため、次の3つを行動に移します。

1. 私たちは、「お客様」「社員」「これから出会うすべての人」に感動して頂けるよう努力を惜みず社員一人一人が成長します。
2. 私たちは、「新しいことへ挑戦する」「失敗を恐れぬ」の精神を掲げ、目標達成を目指します。
3. 私たちは、「山陰興業に任せておけば大丈夫」と少しでも多くのお客様に言ってもらえるよう、社員一人一人が安心・安全の意識を高めます。

今期の基本方針は、『一人ひとりが感動を発信する』です。この感動をお客さまに伝えるには、まず自らが感動出来ることを発信し、それを社員全員が共有する。そして、お客さまに感動の輪を広げていくのです。

最近こんなうれしいことがありました。小村社員が、お客さま先の分離槽と溜桷清掃に行ったとき、溜桷がある廃棄物置き場の床面清掃も行いました。「そこまでやってくれるの。うれしいわ!」とお客さまに大変喜んでいただきました。

このように私たちは、この地域に、この業界になくはない存在になり、周りからお客さまから素晴らしいといわれる社員と会社になります。



山根社長
事業発展計画を発表する



部門別事業発展計画を発表した、安原常務・岸本課長・松下部長(写真左より)